

ゲノム編集トマトに異議あり

生活クラブ生活協同組合理事長 山崎 栄子

ゲノム編集技術は、特定の標的遺伝子を破壊して行う生命の改造であり、この技術を活用した食品は新たな毒性やアレルギー・がん誘発物質の発生が危惧され、健康被害や環境への影響が懸念されます。生活クラブ生協は開発企業や国に対して、ゲノム編集食品の栽培や商業流通に強く反対し、厳格な安全性審査や環境影響評価及び表示義務を求めました。

ゲノム編集は、未確立の技術であるにも拘わらず、国は従来の品種改良と同等として、安全性や環境への影響審査、表示をゲノム編集食品には義務付けていません。このような中、2020年12月の「高GABAトマト」以降「可食部増量マダイ」「高成長トラフグ」が次々と認可されました。それに対し、北海道食といのちの会」は、ゲノム編集トマトを開発・無償配布したサナテックシード



ゲノム編集食品の規制と表示を求め署名活動

社とパイオニアエコサイエンス社、また、マダイを認可した厚生労働省と農林水産省へ「遺伝子操作食品に関する緊急抗議・要請」を行いました。さらに、両社がゲノム編集トマトの種苗を福祉施設や教育施設へ無償配布するとのことから、北海道179自治体へ「ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください」と要請しました。

食の安心・安全は「予防原則」が基本であり、安全性が確認されていない食品を子どもたちに食べさせることは許されません。「消費者が選ぶ権利」を保障するものとして表示義務を課すべきです。ゲノム編集食品の栽培や流通に強く反対していきます。

投票所出入り口
バリアフリー調査 (か所)

	北区	東区
調査実施数	48	35
常設スロープ	23	14
仮設	20	18
その他	5	3
手すり 無し	34	28

(投票所数：北区・48、東区・39)



投票所（小学校）を調査
(2021年4月25日)

学校など投票所の出入り口に 常設スロープ、手すり設置を！

市民ネットワークは、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざし、歩道の点字ブロックや公共施設のトイレ、公園などのバリアフリー点検を当事者とともに進めています。2021年、国政選挙が行われた際、高齢者など誰もが安心して投票できるよう市民団体とともに北区、東区で調査を行いました。

投票は、市民自治の根幹であり、誰もがバリアを感じることなく投票できることが重要です。投票所の出入り口には、スロープが設置されています。しかし、仮設のスロープは幅が狭い上に手すりがない所が多く、高齢者や障がいのある方が利用するには不安定で、危険な状況です。車椅子で利用した場合、スロープがずれる心配もあります。常設のスロープでも手すりの無いところがありました。

投票所出入り口
バリアフリー調査 (か所)

	北区	東区
調査実施数	48	35
常設スロープ	23	14
仮設	20	18
その他	5	3
手すり 無し	34	28

(投票所数：北区・48、東区・39)



投票所（小学校）を調査
(2021年4月25日)

クローズアップ

生きづらさに寄り添う社会へ

屋代 通子 (NPO 法人 CAN 理事・事務局長)



NPO法人CANは、2009年に認証を受ける以前の04年から、暴力や困窮などで家族など身内から十分な支えを得ることのできない若い方々に寄り添う活動をしてきました。具体的には、話を聴き、必要に応じ、役所等の諸手続きに同行する、食事作りや掃除・洗濯などの家事を一緒に行うといったことです。2010年から19年までは女子の自立援助ホームを運営しました。

し、困難を抱えた家庭は親族や地域でも孤立しがちな上、学校とのつながりも希薄で、支援を求めにくいものです。現在は「ピッケノハコ」という居場所を運営しています。思い立った時、予約なしに立ち寄り、自分の気持ちの赴くままに過ごせる場所で、要望があれば食事も提供します。一緒に過ごす中で少しずつ自分のことを話してくれる方もいて、その中から必要が生じれば同行や家事のお手伝いをすることもあります。スタッフは先回りせず、ご本人から要望が出てくるのを待ちます。既存の制度に繋ぐのが難しい場合も多く、今のところ財政の基盤はありませんが、すべて無料で行っているため、会員の会費や寄付・助成金が頼りです。

2021年度からは札幌市の若年女性支援事業LINKにも参画し、居場所（シェルター）の提供を行っています。ただ、安全な場所が確保されても、住まいや仕事が決まっても、それは自立への小さな一歩にすぎず、そのあとの伴走こそが大切なのですが、現行の制度ではいまだ保障されていません。妊娠中の方や、支援のないままに18歳の誕生日を迎え、児童福祉法の対象外となってしまう社会的養護「未満」とも言える方々にも、支援の手立てがほとんどないのが現状です。年齢や性別で区切ることなく、ひとりひとりの生きづらさに丁寧に関わり添うことに、社会全体で支援できるような制度の充実が望まれます。

- プロフィール・やしろ みちこ
2004年 4人の仲間とともに子ども自立支援グループCANを設立
09年 NPO法人化とともに理事・事務局長
13年～20年 自立援助ホームシーズ南平岸ホーム長
- 問い合わせ・連絡先
NPO 法人CAN 住 所：札幌市豊平区平岸3条14丁目1-11-503
TEL：090-2814-1975
メール：can@e-ml.mobi
相談時間：平日11時～17時 土日祝12時半～20時
平日11時～17時 土日祝12時半～20時

市民ネットは 市民の声を 政策にします

市民ネットワーク北海道とは

札幌市、北広島市に3名の議員を擁する市民の政治団体です。政治は、生活を豊かにする「道具」です。市民ネットワークの議員は、市民の声を政治の場に届ける「代理人」として、生活と政治をつなぎます。現在、7都県ネットと連携し、ともに地域から政治を変える活動をすすめています。

札幌市議会議員

北広島市議会議員



石川 さわ子



鶴谷 さとみ



佐々木 ゆりか

全国に広がる市民政治ネットワーク

市民ネットワーク北海道 (3名)	札幌市1名、北広島市2名	全国計 (86名) ()内は議員数 2021年12月現在
東京・生活者ネットワーク (40名)	茨城ネットワーク運動連絡会 (5名)	
神奈川ネットワーク運動 (14名)	信州生活者ネットワーク (1名)	
市民ネットワーク千葉県 (11名)	ふくおか市民政治ネットワーク (5名)	
埼玉県市民ネットワーク (7名)		



市民ネット3つのルール

- 議員は、交代制(ローテーション)
2期8年を基本とし最長3期12年としています。議員を職業化、特権化せず、市民の議会参加を広げます。
- 議員の報酬は、みんなで管理
議員を議会活動の担当者として位置づけています。議員の報酬は市民の活動費としています。
- カンパとボランティアによる選挙
お金のかかる選挙は利権を生むものになります。みんなでお金(カンパ)と知恵と労力(ボランティア)を出し合って選挙を行い、政治に参加する人を広げます。

ハガキ または入力フォーム からご意見をお聞かせください。



ひとことアンケート

- あなたが最近気になっていることは何ですか。
○印をつけてください。いくつでもOKです。
- ・子育て支援 ・ワクチン問題 ・子どもの貧困
- ・防災、減災 ・介護 ・ヤングケアラー ・女性差別
- ・若者の就労 ・障がい者支援 ・憲法「改正」
- ・気候変動対策 ・札幌の財政 ・マイナンバー制度
- コロナ禍で、困っていることなどはありますか。
- その他、ご意見をご記入ください。

■よろしければ、ご記入ください。
あなたの年齢 (10、20、30、40、50、60、70、80～) 歳代

お名前

ご住所

TEL/FAX

